

安全衛生活動状況チェックリスト

区分	項目	要約事項	区分	項目	要約事項
安全管理体制	① 安全衛生管理名簿		不 安 全 行 動	① 無資格者作業	
	② 管理組織 (安全衛生委員会等)			② 不安全な服装	
設備	① 届出、点検等			③ 共同作業の指揮者不在、 作業合図の不徹底	
	① 新規入場者教育			④ 治工具の不適正使用、 乱暴な取扱い	
安全衛生教育	② 配置転換者教育			⑤ 標準、表示に反した作業 (過負荷運転、 不安全運転等)	
	③ 職長教育				⑥ 不安全な姿勢 (足場、手の置き方)
	④ 管理者教育				
健康診断	① 採用時健診		点 検 整 備	① 法定点検設備の表示 (点検責任者名等)	
	② 配置転換時健診			② 始業点検、定期点検 の実施状況	
	③ 定期健診				
	労働災害発生状況		設 備 の 状 態	① 故障、破損の放置	
整理整頓	① 通路の確保			② 配線処理不良 (路上配線、臨時配線、 ビニール配線)	
	② 積み方・置き方			③ ホース類の正規の クリップ	
	③ 不要品の整理			① 危険物取扱い場所 の表示、取扱い 責任者の表示	
	④ 清掃状態		② 貯蔵方法(ボンベの 置き方、空充の別等)		
保護具	① 粉じん職場		火 災 ・ 爆 発 の 防 止	③ 溶接の火花防護	
	② 騒音			④ 歩行喫煙、危険物 周辺の喫煙(吸い がら入れの管理)	
	③ 重量物取扱い				⑤ 消火器の管理
	④ 高所作業		有 害 作 業	① 各種障害予防規則 適用のもれ	
	⑤ 溶接作業			② 有害物取扱いの足 知	
	⑥ 回転工具使用				
安全装置	① 回転部、駆動部の カバー		異 常 時 の 処 置	① 非常押しボタンの 整備状態	
	② 転落、転倒防止用手 すり、柵、滑止め			② 危険作業への 単独配置	
	③ 表示灯の球切れ、 表示の汚損		そ の 他	① 安全上、特に優れた 施策、特徴	
	④ 溶接ホルダーの破損、 アースの取り方				
	⑤ 感電防止				
作業環境	① 排煙、排じん装置 の状況				
	② アーク光線の衝立 ガード				
	③ 照度、温度、騒音、 振動、汚染				

労働衛生管理活動チェックリスト ※該当項目を○印で囲んでチェックのこと

危険有害業務の状況		有無	その場所及び状態	
安全衛生委員会		設置 (有・無)	開催回数 (回/月)	議事録 (有・無)
点検事項		実施状況	備考	
産業医の選任状況		有 無	氏名	
衛生管理者の選任状況		有 無	氏名	
作業環境測定士		有 無	氏名	種目
安全衛生推進者		有 無	氏名	
作業主任者の選任状況		選任の必要性	有・無	
		選任の有・無	①特定化学物質等 ②酸素欠乏等 ③鉛 ④四アルキル鉛等 ⑤高気圧	
衛生管理台帳の整備		① 衛生関係作業標準一覧表 (有・無) ② 衛生保護具指定作業一覧表 (有・無) ③ 緊急時訓練実施記録 (有・無) ④ 緊急時連絡体制 (有・無) ⑤ 安全衛生組織図 (有・無) ⑥ 特殊健康診断対象者名簿 (有・無) ⑦ 衛生関係法定資格所有者名簿 (有・無) ⑧ 保管責任者 (管理者、専任者、その他)		
自主点検	職場巡視	実施していない	①定期 (毎日、1週以内、1カ月以内)、不定期 ②巡視者 (専任者、管理者) ③結果記録 (有・無)	
	保護具、救急用具などの点検整備	実施していない	①定期、不定期 ②点検責任者 (有・無) 氏名 ③点検リスト (有・無)	
	作業環境測定	実施せず ①指定作業場ありなし	①定期 (測定法による測定、その他)、不定期 ②実施者 (測定機関、専任者、管理者、部外専門家) ③結果記録 (有・無)	
衛生教育	衛生教育の計画	有 無	立案者 (管理者、専任者、その他)	
	雇入れ時育 (配転) 教育	実施せず ①新入者あり、新入者なし	実施者 (管理者、専任者、その他)、結果記録 (有・無)	
	有害業務の特別教育	該当なし	結果記録 (有・無)、該当項目 () ()	
	作業員に対する教育	実施せず	定期、不定期、就業時間内、就業時間外、結果記録 (有・無)	
健康診断	採用時健康診断	実施せず ①新入者ありなし	結果記録 (有・無)	
	定期健康診断	実施(1回/年2回/年) 実施せず	①対象者 (全員、一部) ②健診項目 (法定の項目全部、一部) ③結果記録 (有・無) ④監督署への報告 (済み、なし) ⑤本人への通知	
	特殊健康診断	実施せず ①有害業務ありなし	①対象 (有機則、鉛則、じん肺法、特化則、四アルキル鉛則、電離則) ②期間 (法定期間ごと、法定期間をこえる) ③健診項目 (法定項目全部、一部) ④結果記録 (有・無) ⑤監督署への報告 (済み、なし)	
	異常所見者に対する事後措置	実施せず	健康診断個人票の保存 (有・無)	
	健康状態の把握	実施せず	確認の方法 朝礼のとき班長が行う、本人に申告させる、その他	
	体力測定	実施せず	個人別記録 (有・無)	

安全衛生管理体制チェックリスト ※該当項目を○印で囲んでチェックする

	項 目	関係法令	チェック事項
安全衛生管理者・資格者など	総括安全衛生管理者	法10条、令2条 則2条	(要 (選任 (届出済み 不要) 未選任) 届出なし) 選任者名 ()
	安全管理者	法11条、令3条 則4条	(要 (選任 (専属 不要) 未選任) 非専属) 選任者名 ()
	衛生管理者	法12条、令4条 則7条	(要 (選任 (専属 不要) 未選任) 非専属) 選任者名 ()
	衛生工学衛生管理者	法12条 則7条	(要 (選任 (専属 不要) 未選任) 非専属) 選任者名 ()
	産 業 医	法13条、令5条 則13条	(要 (選任 (専属 不要) 未選任) 非専属) 選任者名 ()
	安全衛生推進者	法12条の2 則12条の2	(要 (選任 不要) 未選任) 選任者名 ()
	作業主任者	法14条 令6条	(要 (選任 不要) 未選任) 未選任者名 ()
	統括安全衛生責任者	法15条 令7条	(要 (選任 (届出済み 不要) 未選任) 届出なし) 選任者名 ()
	元方安全衛生管理者	法15条の2 則18条の2	(要 (選任 (届出済み 不要) 未選任) 届出なし) 選任者名 ()
	店社安全衛生管理者	法15条の3 則18条の6～8	(要 (選任 不要) 未選任) 選任者名 ()
	安全衛生責任者	法16条 則19条	(要 (選任 (通報済み 不要) 未選任) 通報なし) 選任者名 ()
管理組織	安全衛生委員会	法17～19条、 令8、9条	(要 (選任 (開催 不要) 未選置) 未開催) 活動状況 (良 不良)
	自主的安全衛生組織		(有 活動状況 (良 無) 不良) 活動内容 ()
管理規程など	安全衛生管理規程		(有 規定内容 (具体的 無) 抽象的) 職務権限規程 (有 無)
	安全衛生委員会規程		(有 規定内容 (具体的 無) 抽象的) 職務権限規程 (有 無)
	作業標準		(有 整備状況 (全作業 無) 一部作業) 内容 (具体的 抽象的)
災害防止計画	安全衛生年間計画		(有 内容 (具体的 無) 抽象的) 目標設定 (有 無) 重点事項設定 (有 無)
	安全衛生月別計画		(有 内容 (具体的 無) 抽象的) 目標設定 (有 無) 重点事項設定 (有 無)
	職場安全衛生計画		(有 内容 (具体的 無) 抽象的) 目標設定 (有 無) 重点事項設定 (有 無)

防火管理チェックリスト

点 検 項 目		結 果	備 考
避 難 管 理	1	階段・通路に避難の障害となるものがないか	
	2	防火シャッターは完全に閉まるか	
	3	避難器具の周囲には操作の障害となるものがないか	
	4	避難器具の変形、損傷、腐食などがないか	
	5	器具が取り付けられている開口部は容易に開くか	
	6	降下空間、避難空き地に障害となるものがないか	
	7	避難経路図は提出されているか	
	8	誘導灯は常時点灯しているか	
	9	誘導灯の非常電源の切換え機能はよいか	
	10	間仕切り、広告物などによる視認障害はないか	
消 火 設 備	1	消火栓の電源は遮断されていないか	
	2	止水弁は「開」になっているか	
	3	消火栓箱の前に物品は置かれていないか	
	4	ホースなどに損傷はないか	
	5	赤色灯は点灯しているか	
	6	消火器は使用に便利な位置にあるか	
	7	薬剤は定期的に詰換えをしているか	
	8	消火器のホースは変形、損傷、老化、つまりなどがないか	
自 動 火 災 報 知 設 備	1	ベル停止になっていないか	
	2	電源表示灯が点灯しているか	
	3	非常電源切換え機能はよいか	
	4	感知器の撤去箇所はないか	
	5	間仕切りなどによる未警戒部分はないか	
防 火 管 理	1	防火管理者が選任され、届出がされているか	
	2	消防計画に震災（警戒宣言発令、発災）時の処置法があるか	
	3	消防計画は提出されているか	
	4	消防計画に基づく訓練などは実施しているか	
	5	従業員に対する防災教育はしているか	
火 気 使 用 管 理	1	周囲の造営材に異常はないか	
	2	変形、損傷、腐食、燃料漏れなどはないか	
	3	内容積20ℓ以上のLPG容器を屋内で使用していないか	
	4	煙突（排気筒）に亀裂、損傷はないか	
	5	煙突の貫通部は不燃構造になっているか	

安全衛生管理方針チェックリスト

項 目	主たる着眼点	良 否
<p>経営者は安全衛生管理に対して積極的に関心を示しているか</p>	<p>イ 経営者の安全衛生管理に対する理解と認識の程度、特に災害発生状況あるいは安全衛生管理状況の把握 ロ 経営者の安全衛生管理に対する方針はどうか ハ 経営者の安全衛生管理に対する関心の示し方及びその具体性の有無</p>	
<p>経営管理に占める安全衛生管理の比重は適切か</p>	<p>イ 企業規模、業種、生産組織、製造品目、従業員数、工場立地条件、職制など、その関連からみた安全衛生管理のスケール及びウエイト</p>	
<p>安全衛生管理と他の管理との関連は適切であるか</p>	<p>イ 生産管理、工程管理、設備管理、労務管理、作業管理などとの関連 ロ 安全管理者、衛生管理者の権限及び資格要件 ハ 安全衛生に対する他の部門の長の理解や認識の程度はどうか ニ 安全衛生管理に対する他の管理部門の理解、連携の有無</p>	
<p>安全衛生管理方針の内容は適切であるか</p>	<p>イ 方針の内容の的確さ及び具体性はあるか ロ 他の経営方針との関連性はどうか</p>	
<p>安全衛生管理方針は、事業場における安全衛生管理水準に適應しているか</p>	<p>イ 安全衛生管理の内容と重点との関連は適切か ロ 災害発生状況、災害統計の分析はどうか ハ 従業員の安全衛生意識の程度はどうか ニ 行政方針及び指導方針との関連は適切か ホ 業界における安全衛生管理との関連、安全衛生管理の研究機関との連絡状況などは緊密か</p>	
<p>安全衛生管理方針が従業員に徹底されるよう、具体的に計画されているか</p>	<p>イ 方針徹底の方法は適切か ロ 従業員の認識と理解の程度はどうか ハ 方針の具体化を検討しているか</p>	
<p>安全衛生管理方針に基づく安全衛生管理の内容は明確かつ適切に成文化されているか</p>	<p>イ 就業規則、安全衛生規則及び諸規程から検討されたか ロ 安全衛生管理部門の職務分掌は検討されたか ハ 安全衛生委員会規程の内容は検討されたか ニ 安全衛生要綱、心得などの内容は検討されたか ホ 安全標語、安全ポスター、掲示板などは適切か</p>	
<p>安全衛生管理方針の具体化は十分に行われているか</p>	<p>イ 安全衛生管理上の職務分掌、安全衛生委員会規程の検討 ロ 安全衛生運動展開にあたっての目標及び安全衛生計画書は検討されたか ハ 安全衛生関係諸規程の整備状況はどうか ニ 安全衛生教育計画の検討されたか ホ 従業員の受入れ方はどうか、また全員の意識はどうか</p>	
<p>安全衛生管理方針の具体化の後、管理方針の検討は行われているか</p>	<p>イ 安全衛生活動の安全衛生管理方針に適合しているか ロ 安全衛生管理方針に対する従業員の理解と認識はどうか ハ 具体化された管理方針の事後検討を定期的に行っているか</p>	

安全衛生教育チェックリスト

項目	主たる着眼点	良否	改善事項
新規入場者の安全衛生教育は適切に行われているか	イ 採用関係書類及び採用基準の検討 ロ 新入者身分別・職種別安全衛生教育計画立案の適否 ハ 安全衛生教育時間及び内容の検討 ニ 配属後の安全衛生教育の方法及び内容の検討 ホ 適正配置と安全衛生教育結果との関連 ヘ 新入者の安全衛生に対する基礎知識のチェック ト 女性及び年少者の安全衛生教育についての検討		
一般従業員の安全衛生教育は十分に行われているか	イ 災害諸統計表・災害傾向分析表の検討 ロ 安全衛生教育の問題の取上げ方とその的確さ ハ 安全衛生教育担当者の資格要件 ニ 安全衛生教育結果の判定及び検討の方法 ホ 教育実施後の教材及び教育機会などの検討 ヘ 女性及び年少者の安全衛生教育についての検討		
特殊作業者の安全衛生教育は適切か	イ 安全衛生教育を実施すべき特殊作業の決定 ロ 安全衛生関係法令、安全衛生規則との関係 ハ 教育の時期、教育時間数 ニ 適正配置との関連の検討		
管理監督者の安全衛生教育は適切に行われているか	イ 職・班長の職務分掌及び組織図・責任権限規程の検討 ロ 職・班長の安全衛生意識の程度 ハ 職・班長の安全衛生教育の時期と内容の検討 ニ 職・班長の安全衛生教育担当者の資格要件の適否 ホ 教育実施結果の検討 ヘ 職・班長の部下に対する安全衛生指導の程度		
臨時工の安全衛生教育は適切に行われているか	イ 採用関係書類及び採用基準の検討 ロ 職種別安全衛生教育計画立案の適否の検討 ハ 安全衛生教育時間及び内容の検討 ニ 配属後の安全衛生教育の方法及び内容の検討 ホ 安全衛生の基礎知識のチェック ヘ 女性及び年少者の安全衛生教育についての検討 ト 季節的臨時工の安全衛生教育についての検討		
災害多発傾向者の安全衛生教育は適切に行われているか	イ 災害多発傾向者の選別基準の検討 ロ 災害統計表、災害傾向分析との関連 ハ 災害多発傾向者の災害原因の分析 ニ 教育の時期・教育時間・教育手段 ホ 適正配置との関連の検討		

安全状態チェックリスト

点 検 事 項		良否	問 題 事 項
日 常 点 検	1 日常点検表はあるか 2 確実に点検されているか 3 点検者は点検箇所を知っているか 4 安全ポイント（設備上）を知っているか		
設 備 ・ 装 置 機 器	1 建物、設備、装置に欠陥はないか 2 機械器具に欠陥はないか 3 電気設備、配線に欠陥はないか 4 作業場の広さ、通路は確保されているか 5 階段、床面に欠陥はないか		
安 全 装 置	1 安全装置をつけているか 2 保護カバー、覆いなどはついているか 3 急停止装置はついているか 4 安全囲い、警戒区域などは完全であるか		
補 助 具	1 イス、脚立、足場は適正なものを使用しているか 2 工具、用具、補助具に欠陥はないか 3 運搬具、補助具に欠陥はないか		
設 防 備	1 柵、囲い、覆い、警戒区域などは完全か 2 標識、指導票は適正に使用されているか 3 消火設備器具はよく整備されているか		
服 保 装 具	1 作業服装はよいか 2 履き物はよいか 3 保護具は確実に使用されているか 4 保護具に欠陥はないか		
作 業 環 境	1 照明は適正か 2 換気、騒音、振動、温度の状況はどうか 3 有害ガス、粉じん、光線の状況はどうか 4 寒暑、臭気、煙の状況はどうか		
整 理 整 頓	1 足元が乱雑になっていないか 2 作業上の不用品や必要以上に多くの品物がないか 3 物の置き方、積み方はよいか 4 工具、器具、用具の保管状況はよいか		
その他			

安全行動チェックリスト

点 検 事 項		良否	問 題 事 項
防 安全装置 具	1 安全装置、防具を使用しているか 2 勝手に安全装置を取り外して使用していないか 3 壊れたまま使用していないか		
機 械 の 手 入 れ	1 調整、注油、清掃は決められたとおり行っているか 2 修理、取換えは運転を止めて行っているか 3 点検表示板を確実に表示しているか		
器 具 類	1 欠陥のある器具・用具を使用していないか 2 器具・用具の用途は適正か		
危 有 険 害 物 物	1 火気及び可燃物の取扱いは正しいか 2 有害物の取扱いは正しいか 3 重量物の取扱いは正しいか 4 高圧ガス、危険物の取扱いは正しいか		
服 保 装 護 具	1 決められた作業服装をしているか 2 決められた保護具などを使用しているか 3 用途を誤って使用していないか 4 靴のかかとなどを踏んでいないか		
危 険 場 所	1 禁止表示のある場所にいないか 2 不安定なものの上や物品の飛んでくる場所にいないか		
共 同 作 業	1 連絡合図は正しく行い、相手の動作を確認しているか 2 共同作業の指揮者を決めているか。また、腕章を着用しているか		
作 業 規 律	1 無資格者が作業を行っていないか 2 作業手順を省略していないか 3 安全規則を守っているか 4 掲示された方法を守っているか		
動 作 ・ 姿 勢 ・ 速 度	1 わき見、むだ口などの行為はないか 2 作業姿勢は正しいか 3 急ぎすぎ、粗暴なこと（飛ぶ、投げる）を行っていないか 4 ぶらぶら歩きをしていないか 5 決められた速度を守っているか		
その他			

日常点検チェックリスト

点 検 事 項		良否	問 題 事 項
作業服装	1 作業服装はよいか（服装、履き物） 2 保護具の着用はよいか（メガネ、マスクなど）		
作業姿勢	1 無理な姿勢で作業をしていないか 2 むだな動作を含んだ作業をしていないか		
通 路	1 白線が明示されているか 2 通路にもものが置かれていないか 3 通路に凹凸がないか 4 運搬車などの置き場所は表示されているか 5 マンホール、ピットなどの危険表示はよいか		
作 業 場	1 部品、材料、工具などの整理はよいか 2 掃除は行きとどいているか 3 各種表示物は確実に明示されているか 4 不要な掲示物は張られていないか		
環 境	1 作業場の明るさは十分か 2 照明器具の破損はないか 3 電球やカサの汚れはないか 4 まぶしさ、暗がりはないか 5 温度、湿度は適当か 6 室内の換気はよいか		
電 気	1 電気配線は適切か 2 コードなどの摩耗はないか 3 スイッチ、コンセントの破損はないか 4 アースは適切に取られているか		
安 全 装 置	1 安全装置に問題はないか 2 防護設備はよいか（覆い、柵など） 3 回転部分に危険はないか		
危 険 物	1 危険物、有害物の使用管理はよいか 2 燃えやすいものを置いていないか 3 消火設備はよいか 4 消火器の前にもものが置かれていないか		
その他			

職場環境チェックリスト

点 検 事 項		良否	問 題 事 項
空 気 温 度 ガ ス	1 0.5m/秒以上の気流にさらされていないか 2 温度は適切に保たれているか (°C) 3 湿度はよいか (40%~70%程度が望ましい) 4 ガス、粉じんが飛散していないか (有機ガス、CO ₂ 、粉じんなど)		
採 光 温 度 騒 音	1 作業面の照度はよいか 2 明暗の対象が著しくないか 3 まぶしくはないか 4 照明器具や窓面の手入れはよいか 5 騒音はないか (平均 デシベル) 6 特に騒音の高い設備、機械はないか		
清 潔	1 ネズミはいないか 2 害虫 (アブラムシ、ダニ、カなど) はいないか 3 茶がら、残飯、タバコの吸いがらの処理はよいか 4 更衣室は清潔であるか (男性、女性) 5 休憩室、食堂などは清潔であるか 6 洗面所は清潔であるか 7 便所は清潔であるか (男性、女性) (落書きはされていないか) 8 給湯室、湯沸器などは清潔に保たれているか		
救急用具	1 担架の置き場所、保持管理はよいか 2 救急箱の置き場所、保持管理はよいか 3 これらの管理者は定められているか		
廃 棄 物	1 廃棄物 (ゴミ、茶がら、吸いがらなど) の捨て場 所は定められているか 2 定められている場所に捨てられているか 3 捨て場所は清潔に保たれているか		
色 彩	1 設備機械が油だらけで汚れていないか 2 掲示物、標識などの掲示はよいか 3 不要な掲示物はないか		
その他			

事務所安全衛生チェックリスト①

事務所内の点検項目		良否
1	蛍光灯・スポットライトの取り付けは完全か。また、切れていないか	
2	室内表示の表示物・看板の取り付けは完全か	
3	主要箇所に「禁煙」の掲示はされているか	
4	避難通路は規定の幅が確保されているか（主要通路1.8m以上、補助通路1.2m以上）	
5	避難通路上で避難口への誘導灯の視界をさえぎるものはないか	
6	避難通路に破損や通行の障害になるものはないか	
7	破損・危険及び不安定な計器や事務機はないか	
8	非常口の周囲に開閉の障害になる計器や事務機は置かれていないか	
9	非常口のドアは正常か	
10	非常口の表示は見やすく取り付けられているか	
11	防火シャッター線上の両側20cm以内に物品が置かれていないか	
12	防火シャッターに平行する柱や壁に製品・陳列物などの可燃物が置かれていないか	
13	避難用具の障害になる計器や事務機は置かれていないか	
14	事務所内から見通しのきく箇所へ「避難用具」所在の表示はされているか	
15	消火栓の周囲に使用の障害になる計器・事務機は置かれていないか	
16	消火器は所定の場所に置かれているか	
17	室内通路から見える箇所に消火器所在の表示はされているか	
18	スプリンクラーヘッドから下方60cm以内、水平方向30cm以内に物品は置かれていないか	
19	懐中電灯、携帯用拡声器、ヘルメットは規定数確保されているか	
20	救急用具は設置されているか。また従業員はその所在や使用方法を知っているか	
21	配線、コンセントなどの電気器具は安全に管理されているか	
22	異臭気の原因・煙やほこりの充満はないか。温度・湿度及び騒音に異常はないか	
点検結果及び評価		

通路の点検項目		良否
1	通路や階段に計器や事務機が置かれ、通行の障害となっていないか	
2	通路の幅は十分確保されているか（避難通路に準じ、主要通路1.8m以上、補助通路1.2m以上）	
3	通路及び階段の床は、つまずき、滑り、踏抜きなどの危険はないか	
4	通路の照明は十分確保されているか	
5	通路から避難口への視界をさえぎるものはないか	
6	非常口に支障となる物品は置かれていないか	
点検結果及び評価		

事務所安全衛生チェックリスト②

休憩室の点検項目		良否
1	不要な物品は置かれていないか。また、清掃は十分行われているか	
2	計器に汚れや破損品はないか。また、整頓されているか	
3	ゴミ箱は設置されているか。また、破損、汚損はないか	
4	灰皿は規定数設置されているか。また、管理状態は十分か	
5	掲示物はきれいに張られているか。また、不要な掲示物はないか	
6	照明は適正か。また、蛍光灯の破損はないか	
7	室内の換気・冷暖房は適正に保たれているか	
8	湯沸器本体は天井から60cm以上、壁から15cm以上離して設置してあるか	
9	湯沸器の機能は正常か（点火及び消火）	
10	消火器は見通しのよい場所に設置されているか	
点検結果及び評価		

階段の点検項目		良否
1	階段に滑止めはしてあるか。また、滑止めがはがれている箇所はないか	
2	階段の踏み面や踊り場の床にはがれている箇所はないか	
3	階段の手すりは完全に取り付けられているか	
4	階段や踊り場に通行の障害になる計器や事務機は置かれていないか	
点検結果及び評価		

洗面所の点検項目		良否
1	入口のドアは正常か	
2	カーテンの汚れや破損はないか	
3	個々のドアの取り付けやドアの鍵は正常か	
4	トイレトペーパーは備えてあるか。また、予備は保たれているか	
5	汚物入れは備えてあるか。また、清潔に保たれているか	
6	床や壁に汚損箇所はないか	
7	手洗場所は清潔か。また、破損箇所はないか	
8	鏡は磨いてあるか。また、壊れていないか	
9	消毒液及びうがい薬は備えてあるか。また、容器は破損していないか	
10	臭気の充満はないか	
点検結果及び評価		

建設下請協力会社チェックリスト①

点検項目	チェックポイント	点検結果	改善を要する事項
(1) 新規 入場者 教育	①実施しているか（結果報告を確認して行う） ②実施内容はよいか （点検結果が「いる」場合にチェックする） ・実施者は誰か ・受講者数 ・受講者のもれはないか ・結果報告のサインは自筆で署名しているか	①・いる ・いない ② ・元請社員 ・自社職長 ・自社安全担当者 ・（ 人） ・ある（ 人）・ない ・全員自筆 ・一部自筆 ・全員代筆	
(2) 作業 指示書・ミー ティング 日誌の作成と 活用	※点検当日の作業指示書・ミーティング日誌を確認して行う ①作業指示書 ・記載者は誰か ②ミーティング日誌 ・ミーティング記載事項について、当日の作業状況から補足指導した事項があったか ・ミーティング参加者にもれがなかったか ・参加者のサインは自筆で署名しているか ・ミーティングに要した時間はどのくらいか ③作業別管理者把握 ・作業別管理者把握のための欄は適切に記載しているか ④ミーティング事項の徹底と作業別管理者の職務遵守 （作業場巡視結果から判断し、5段階評価する） ・ミーティングした事項を、作業員は守っているか ・作業別の各管理者は、職務基準を理解し、守っているか	① ・元請社員 ・職長 ② ・あった ・ない ・あった（ 人）・ない ・全員自筆 ・一部自筆 ・全員代筆 ・約（ 分） ③ ・いる ・一部不適切 ・該当なし ④ 5 4 3 2 1 （よい→悪い） 5 4 3 2 1 （よい→悪い）	
(3) 朝礼とKYT の実施	①本日の朝礼に全員参加したか ②朝礼の状況 ・朝礼の進行者は誰か ・安全十訓の唱和のリード ・ラジオ体操のリード ・作業者は自社のKYTに参加したか ※参加した場合にチェックする ③KYTの状況 ・KYT黒板やKYTシートを使ったか ・参加者からの意見は活発であったか （5段階評価）	①・した ・しない ② ・元請社員 ・自社職長 ・他社職長 ・元請社員 ・自社職長 ・他社職長 ・元請社員 ・自社職長 ・他社職長 ・した ・しない ③ ・使った ・使わない 5 4 3 2 1 （よい→悪い）	
(4) 持込み 機械の 管理	①本日現在、電動機械器具や重機（自社のもの）を持ち込んでいるか ※「いる」場合にチェックする ②使用許可の状況 ・使用許可証を張っているか。 ③点検実施状況 ・その日の始業点検を行ったか	①・いる ・いない ② ・全部張っている ・一部張っていないものがある ・全部張っていない ③ ・行った 行わない	

建設下請協力会社チェックリスト②

点検項目	チェックポイント	点検結果	改善を要する事項
(5) 保護具の装着と使用徹底	<p>※作業員の使用状況をチェックする</p> <p>①保護帽</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員装着しているか ・「あごひも」はきちんとしているか <p>②安全帯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員装着しているか ・装着できない場合、元請の許可を受けて他の対策を講じているか ・使用すべき箇所では、確実に使っているか ・検定合格の安全帯を装着しているか <p>③粉じん作業（該当作業のある場合）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防じんマスクを使用しているか <p>④有機溶剤作業（該当作業のある場合）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有機溶剤用マスクを使用しているか <p>⑤騒音の高い作業（該当作業のある場合）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耳栓を使用しているか 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いる ・いない ・いる ・いない <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いる ・いない ・いる ・いない <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いる ・いない <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いる ・いない <p>⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いる ・いない 	
(6) 適正配置	<p>※作業員の配置状況をチェックする</p> <p>①高齢者の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者（55歳以上）を墜落の危険のある高所作業（2m以上）に配置していないか <p>②年少者の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年少者（18歳未満）の者を法令で定める危険または有害な作業に配置していないか 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いる ・いない <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いる ・いない 	
(7) 安全衛生関係書類の提出	<p>※安全衛生関係書類を確認して行う</p> <p>①提出状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元請所定の書類は、もれなく提出しているか <p>②記載内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各書類について、記載もれや記載誤りはないか ・従業員カードの誓約欄の署名は自筆で署名しているか <p>③安全衛生管理計画書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出しているか ・災害防止基本事項（自主記載事項）は、自社の状況に即したものを記載しているか ・工事開始時に、記載内容のミーティングを行い、作業員に周知させたか 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いる ・いない <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ある ・ない ・いる ・いない <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いる ・いない ・いる ・いない ・した ・しない 	
(8) 自主管理に対する理解と推進	<p>①経営幹部の作業所への巡視指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該下請協力会社は、この作業所でいつから工事をしているか ・経営幹部は、点検日前1カ月間に、何回、この作業所の巡視・指導を行ったか ・巡視時、自社の作業状況、ミーティング日誌をチェックし、指導したか ・指導事項はミーティング日誌に記載するなど、記録を残しているか 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 年 月 日 から ・（ 回） ・した ・しない ・いる ・いない 	

災害要因分析シート (食品製造加工業用)

I 災害	II 事故	III 起因物件	IV 直接原因	V 間接原因	VI 対策
被害の部位 頭、顔、目、鼻、口、耳、 肩、頸、腕、脚、足、 手、手指、足指、体幹、 内臓、皮膚、粘膜、全身 その他()	人的事故 (A) 人の動きによる事故 (1) 転倒 (2) 墜落、転落 (3) 衝突 (4) はさまれ (5) 巻き込まれ (6) 切れ、こすれ (7) 腰のひねり その他() (B) 物の動きによる事故 (1) 異物の飛込み (2) 激突 (3) 物体の落下 (4) 物体の倒壊 (5) 交通事故 (6) 振動障害 その他() (C) 接触・吸入による事故 (1) 電気 (2) 高温物体 (3) 低温物体 (4) 暑熱・寒冷 (5) 有毒ガス (6) 酸素欠乏 (7) 電離放射線 (8) 有害光線 (9) レーザー光線 (10) 騒音 (11) 異常気圧 その他() (D) 物的事故 (1) 落下 (2) 崩壊・倒壊 (3) 飛散 (4) 切断・折損 (5) 変形・変質 (6) 脱線 (7) 漏洩・噴出 (8) 破裂・爆発 (9) 火災 (10) 過熱・焼損 (11) 漏電 (12) 停電 その他()	機械的工ネルギー (1) マシン(丸、クワ)等 (2) 挽肉機 (3) 包装機・値付機 (4) 二枚おろし機 (5) 切り身機 (6) 塩水処理機 (7) 冷蔵庫(室)扉 (8) コンベアー (9) フォークリフト (10) スタッカークレーン (11) エレベーター (12) 台車・かご車 (13) 洗浄機 (14) 包丁・カッター等 (15) 原料・製品 (16) 作業床・通路 その他() 電気的工ネルギー (1) 電気機器 (2) 電気配線 (3) 静電気 熱工ネルギー (1) 低温物体 液化ガス ドライアイス (2) 高温物体 溶融金属、水蒸気 灼熱物体、火炎 (3) 危険物 一般可燃物 引火性液体 可燃性ガス 発火性物質 爆発物 化学的工ネルギー (1) 毒劇物 (2) 有害物質 (3) 酸素欠乏 放射工ネルギー (1) アーク (2) X線発生装置 (3) 放射性物質 (4) 騒音機械等	物的原因(不安全状態) (1) 作業環境の不備 レイアウトの不良 機械の間隔が狭い 見通しが悪い 整理整頓の不良 照度不十分 換気不良、暑熱 騒音レベルが高い (2) 通路の欠陥 狭すぎる、 滑りやすい、 段差、突起物、放置物 見通しが利かない 足場の材質、構造の不良 (3) 防護設備の欠陥 防護設備がない 防護設備の構造的欠陥 防護設備の機能的欠陥 施錠不完全 鍵の保管体制の不備 (4) 警戒設備の欠陥 危険区域の設定不相当 危険の表示なし 危険の表示不明確 (5) 作業工程、作業方法の危険 重すぎる荷(原料・製品) その他() 人的原因(不安全行動) (1) 作業手順を守らない (2) 作業手順を知らない (3) 運転中の機械の手入れ (4) 安全装置の取外し、機能停止 (5) 不適当な器具、工具の使用 (6) 器具、工具の不使用(手の使用) (7) 保護具の不使用 (8) 保護具の使用法の誤り (9) 不適当な保護具の使用 (10) 整理整頓の不良 (11) 無理な姿勢での作業 (12) 無理な速度での作業 (13) 走、跳、飛び乗り、飛び降り (14) 指示連絡不十分、合図の誤認 (15) 思い違い、勘違い、指示誤認 (16) あせり、とっさに手が出た (17) うっかり、ぼんやり (18) 悪ふざけ、いたずら その他()	(A) 技術的原因 (1) 設備等の設計不良 (2) 構造材料の不相当 (3) 点検保全の不十分 (4) 不安全行動を誘う技術的欠陥 (5) 作業手順の検討不十分 (6) 安全作業手順の未確立 (7) 安全対策の未実行 (B) 教育的原因 (1) 安全知識の欠陥 (2) 安全教育未実施 (3) 安全教育不十分 (4) 安全規程の誤解 (5) 安全規程の軽視 (6) 経験不足、技能未熟 (7) 不安全な作業習慣 (C) 身体的原因 (1) 疾病による体調不良 (2) 過度のストレス (3) 過労、睡眠不足 (4) 酒酔い、薬物中毒 (5) 近視、聴覚、色覚異常 (6) 体力不足、体格不適 (D) 精神的要因 (1) 反抗的な態度 (2) 精神的不安定 (3) 知覚的欠陥(反応遅鈍) (4) 性格的欠陥(頑固、偏狭) (5) モラルの低下 (E) 管理的原因 (1) 最高責任者の責任感欠如 (2) 中間管理者の責任感欠如 (3) 第一線監督者の責任感欠如 (4) 安全衛生管理体制の欠陥 (5) 安全衛生管理規程の不備 (6) 作業手順書の不備 (7) 点検制度の欠陥 (8) 対策実施遅延の放置 (9) 人事管理、適正配置の欠陥 (10) 工期、工程の無理・不備	(A) 技術的対策 (1) 設備等の設計変更 (2) 作業環境の改善 (3) 作業工程の見直し (4) 点検保全制度の確立 (5) 安全作業手順の確立 (B) 教育的対策 (1) 安全教育の実施 (2) 安全教育の徹底 (3) 作業方法の訓練 (C) 身体的対策 (1) 保健指導の実施 (2) 監督者による生活指導と健康KYの励行 (3) 配置転換 (D) 精神的対策 (1) 人間関係の向上 (2) 厳正な規律の保持 (3) 信賞必罰 (4) 配置転換 (5) モラルの向上 (E) 管理的対策 (1) 企業の社会的責任の認識 (2) 管理監督者の責任自覚 (3) 管理監督者の指導力向上 (4) 安全衛生管理体制の改善 (5) 安全衛生管理規程の改善 (6) 作業手順書の成文化・改善 (7) 点検制度の改善 (8) 信賞必罰、勤労意欲の向上 (9) 人事管理の改善、適正配置 (10) 工程管理の改善
被害の種類 骨折、脱臼、捻挫、挫傷、 筋違い、擦り傷、切り傷、 刺し傷、火傷、凍傷、 凍傷、中毒、窒息、酸欠 その他()	被害の程度 (1) 死亡 (2) 永久全労働不能 (障害等級1-3級) (3) 永久後遺障害 (障害等級4-14級) (4) 休業4日以上 (5) 休業4日未満 (6) 不休業	被害の程度 (1) 死亡 (2) 永久全労働不能 (障害等級1-3級) (3) 永久後遺障害 (障害等級4-14級) (4) 休業4日以上 (5) 休業4日未満 (6) 不休業	被害の種類 (7) 物的損害のみ (8) 無災害事故 (ひやり、はっと)	被害の種類 (7) 物的損害のみ (8) 無災害事故 (ひやり、はっと)	被害の種類 (7) 物的損害のみ (8) 無災害事故 (ひやり、はっと)

災害要因分析シート

I 災害	II 事故	III 起因物件	IV 直接原因	V 間接原因	VI 対策
被害の部位 頭、顔、目、鼻、口、耳、 肩、頸、腕、脚、足、手、 手指、足指、体幹、内臓、 皮膚、粘膜、全身 その他()	人的事故 (A) 人の動きによる事故 (1) 転倒 (2) 墜落、転落 (3) 衝突 (4) はさまれ (5) 巻き込まれ (6) 切れ、こすれ (7) こすれ その他() (B) 物の動きによる事故 (1) 異物の飛込み (2) 激突 (3) 物体の落下 (4) 物体の倒壊 (5) 交通事故 (6) 振動障害 その他() (C) 接触・吸入による事故 (1) 電気 (2) 高温物体 (3) 低温物体 (4) 暑熱・寒冷 (5) 有毒ガス (6) 酸素欠乏 (7) 電離放射線 (8) 有害光線 (9) レーザー光線 (10) 騒音 (11) 異常気圧 その他() (D) 物的事故 (1) 落下 (2) 崩壊・倒壊 (3) 飛散 (4) 切断・折損 (5) 変形・変質 (6) 脱線 (7) 漏洩・噴出 (8) 破裂・爆発 (9) 火災 (10) 過熱・焼損 (11) 漏電 (12) 停電 その他()	機械的工ネルギー (1) 原動機 (2) 動力伝達装置 (3) 製造機械 (4) 工作機械 (5) 圧縮機 (6) 揚重機 (7) 運搬機械 (8) 建設機械 (9) 産業ロボット (10) 手持工具 (11) 重量物 (12) 被加工物 (13) 切り粉 (14) 飛来、落下物 (15) 建造物 (16) 作業床、足場 その他() 電気的工ネルギー (1) 電気機器 (2) 電気配線 (3) 静電気 熱工ネルギー (1) 低温物体 液化ガス ドライアイス (2) 高温物体 溶融金属、水蒸気 灼熱物体、火炎 (3) 危険物 一般可燃物 引火性液体 可燃性ガス 発火性物質 爆発物 化学的工ネルギー (1) 毒劇物 (2) 有害物質 (3) 酸素欠乏 放射工ネルギー (1) アーク (2) X線発生装置 (3) 放射性物質 (4) 騒音機械等	物的原因(不安全状態) (1) 作業環境の不備 レイアウトの不良 機械の間隔が狭い 見通しが悪い 整理整頓の不良 照度不十分 換気不良、暑熱 騒音レベルが高い (2) 通路の欠陥 狭すぎる、 滑りやすい、 段差、突起物、放置物 見通しが利かない 足場の材質、構造の不良 (3) 防護設備の欠陥 防護設備がない 防護設備の構造的欠陥 防護設備の機能的欠陥 施錠不完全 鍵の保管体制の不備 (4) 警戒設備の欠陥 危険区域の設定不相当 危険の表示なし 危険の表示不明確 (5) 作業工程、作業方法の危険 その他() 人的原因(不安全行動) (1) 作業手順を守らない (2) 作業手順を知らない (3) 運転中の機械の手入れ (4) 安全装置の取外し、機能停止 (5) 不適当な器具、工具の使用 (6) 器具、工具の不使用(手の使用) (7) 保護具の不使用 (8) 保護具の使用法の誤り (9) 不適当な保護具の使用 (10) 整理整頓の不良 (11) 無理な姿勢での作業 (12) 無理な速度での作業 (13) 走、跳、飛び乗り、飛び降り (14) 指示連絡不十分、合図の誤認 (15) 思い違い、勘違い、指示誤認 (16) あせり、とっさに手が出た (17) うっかり、ぼんやり (18) 悪ふざけ、いたずら その他()	(A) 技術的原因 (1) 設備等の設計不良 (2) 構造材料の不相当 (3) 点検保全の不十分 (4) 不安全行動を誘う技術的欠陥 (5) 作業手順の検討不十分 (6) 安全作業手順の未確立 (7) 安全対策の未実行 (B) 教育的原因 (1) 安全知識の欠陥 (2) 安全教育未実施 (3) 安全教育不十分 (4) 安全規程の誤解 (5) 安全規程の軽視 (6) 経験不足、技能未熟 (7) 不安全な作業習慣 (C) 身体的原因 (1) 疾病による体調不良 (2) 過度のストレス (3) 過労、睡眠不足 (4) 酒酔い、薬物中毒 (5) 近視、聴覚、色覚異常 (6) 体力不足、体格不適 (D) 精神的要因 (1) 反抗的な態度 (2) 精神的不安定 (3) 知覚的欠陥(反応遅鈍) (4) 性格的欠陥(頑固、偏狭) (5) モラルの低下 (E) 管理的原因 (1) 最高責任者の責任感欠如 (2) 中間管理者の責任感欠如 (3) 第一線監督者の責任感欠如 (4) 安全衛生管理体制の欠陥 (5) 安全衛生管理規程の不備 (6) 作業手順書の不備 (7) 点検制度の欠陥 (8) 対策実施遅延の放置 (9) 人事管理、適正配置の欠陥 (10) 工期、工程の無理・不備	(A) 技術的対策 (1) 設備等の設計変更 (2) 作業環境の改善 (3) 作業工程の見直し (4) 点検保全制度の確立 (5) 安全作業手順の確立 (B) 教育的対策 (1) 安全教育の実施 (2) 安全教育の徹底 (3) 作業方法の訓練 (C) 身体的対策 (1) 保健指導の実施 (2) 監督者による生活指導と健康KYの励行 (3) 配置転換 (D) 精神的対策 (1) 人間関係の向上 (2) 厳正な規律の保持 (3) 信賞必罰 (4) 配置転換 (5) モラルの向上 (E) 管理的対策 (1) 企業の社会的責任の認識 (2) 管理監督者の責任自覚 (3) 管理監督者の指導力向上 (4) 安全衛生管理体制の改善 (5) 安全衛生管理規程の改善 (6) 作業手順書の成文化・改善 (7) 点検制度の改善 (8) 信賞必罰、勤労意欲の向上 (9) 人事管理の改善、適正配置 (10) 工程管理の改善
被害の種類 骨折、脱臼、捻挫、挫傷、 筋違い、擦り傷、切り傷、 刺し傷、火傷、凍傷、 中毒、窒息、酸欠 その他()	被害の程度 (1) 死亡 (2) 永久全労働不能 (障害等級1-3級) (3) 永久後遺障害 (障害等級4-14級) (4) 休業4日以上 (5) 休業4日未満 (6) 不休業	被害の程度 (1) 死亡 (2) 永久全労働不能 (障害等級1-3級) (3) 永久後遺障害 (障害等級4-14級) (4) 休業4日以上 (5) 休業4日未満 (6) 不休業	被害の種類 (7) 物的損害のみ (8) 無災害事故 (ひやり、はっと)	被害の種類 (7) 物的損害のみ (8) 無災害事故 (ひやり、はっと)	被害の種類 (7) 物的損害のみ (8) 無災害事故 (ひやり、はっと)

労働災害

事故報告書

年 月 日 報告

事業場名		所在地		責任者		請負金額 円		工期 年 月 ~ 年 月		工事概要		JVの場合の内容		いつ 年 月 日 曜日 時 分		どこで (発生場所)		被 災 者		発生状況		共同作業者 名		災害発生状況図			
所属		業種		氏名		職種		生年月日 年 月 日 (歳)		雇入年月 年 月 日		出身地 都道府県 経年数 年		連絡先 住所 TEL		氏名		発生原因 (不安全な行動・状態)		事故分類		起因物		現場の安全対策			
どこを (傷害程度)		どのように (傷害程度)		休業見込日数 日 (内入院) 日		後遺障害の可能性		現認者 所属		事後確認 病院名 住所・TEL		休養 自 年 月 日 至 年 月 日 日間		治ゆ 年 月 日 障害等級 級		関係業者		業者名		1次 ()		2次 ()		3次 ()		本社の指導・対策	
捺印欄		本社		支社		支店長・代理		安全担当部		技術担当部		作業場															

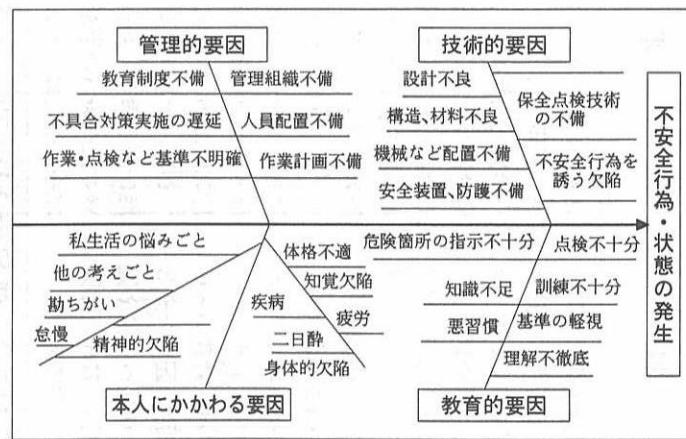
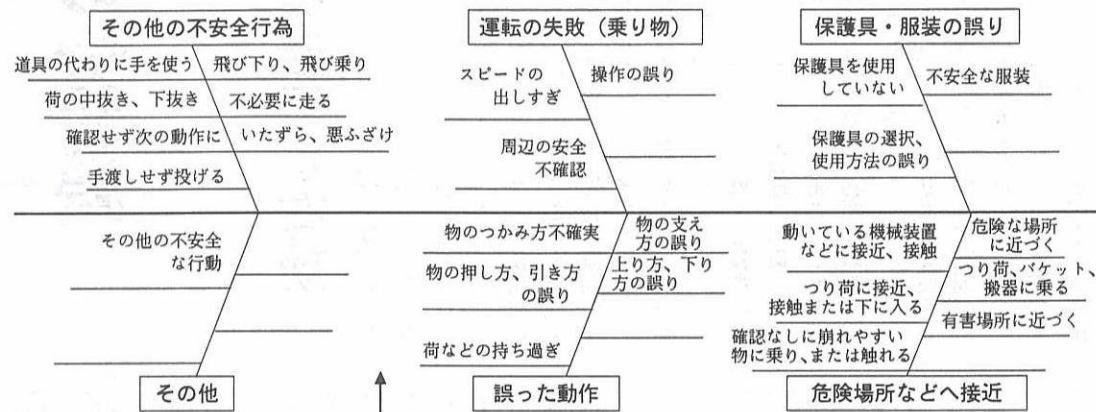
特性要因表（チェックリスト）

参考文献・全国ビルメンテナンス協会作成「職場長の安全衛生指導テキスト」

		項 目	良否			項 目	良否
起 因	物 自 体 の 欠 陥	粗悪である		不 安 全 な 行 為	危 険 動 作	充電物に触れる	
		設計・構造が悪い				危険速度で動作する	
		強度が不足している				誤った機器の使い方をする	
		老朽化している				確認なしの行為	
		滑りやすい／他				不安全な機器を使う／他	
	物 の 欠 陥	安全防護がない			共 同 作 業 の 欠 陥	合図なしに動作する	
		防護措置が悪い				あいまいな合図で動作する	
		防護保持が悪い				動作、呼吸が合わない／他	
		区画、表示の欠陥／他					
	不 安 全 状 態	周 辺 配 置 の 不 適	不安全な物の貯積			規 律 無 視	資格なし、許可なし
作業場の乱雑				警報標識無視、規則無視			
不安定な生産工程				指示無視／他			
作 業 環 境 の 欠 陥		不安全な作業		不 安 全 な 人 的 要 素	精 神 不 全	精神的欠陥	
		作業場が狭い／他				性格的欠陥	
不 安 全 な 行 為	保 護 具 の 誤 使 用	照明が暗い				知能的欠陥／他	
		換気が悪い			身 体 不 全	眼の欠陥	
		温・湿度が不適				耳の欠陥	
		騒音がひどい		筋肉ぜい肉			
	不 安 全 な 位 置 姿 勢	粉じんがひどい／他		疲労（職場外生活を含む）			
		粉じんがひどい／他		内臓疾患／他			
不 安 全 な 行 為	保 護 具 の 誤 使 用	使用法の誤り		知 技 の 欠 陥	安全作業に無知		
		使用しない			不慣れ、未熟練／他		
		不適切な保護具を使用			不 適 正 態 度	故意に指図を無視する	
		必要な衣服を着用しない／他		故意に傷害を起こす			
	不 安 全 な 位 置 姿 勢	無理な姿勢で動作する		そ の 他	怠慢、不和、反抗／他		
		危険位置で動作する					
	交差曲角で暴走する						
	落下物下での作業／他						

(記述式)

災害発生状況	災害原因	対策



(記述式)

発 生 日 時	発 生 場 所	発 生 時 作 業 名
年 月 日 (曜) 時 分		

特性要因の簡易分析法

該当する要因を次々にチェック

特性要因図の作成は、各事業場で考えられる要因がさまざまであるため、独自に行われることが望ましい。しかし、慣れないうちは時間もかかり、手間取ることもあろう。

そこで、どここの現場でもすぐに使え、役に立つ特性要因図の例を以下に示した。

丸印で囲むなどして該当する項目を余白に設けられるようになっている。大骨(幹)にあたる大項目そのものを、現場の実情に即した形で新たに設けるのもいい。災害発生までの原因と結果の関係を説明する特性要因図本来の効用とともに、チェックリストとしても活用することができる。結果(災害発生)から遡れば、対策を立てるのにも役立つ。



(記述式)

作 業 の 種 類	不 安 全 行 為	不 安 全 状 態	要 因
定常作業 非常作業	本作業 前後周辺等	単 独 共 同	

不安全行動要因評価チェックリスト ※「評価」の欄に該当項目を「✓」印でチェックすること。

連絡・確認の不十分		規則・規律の無視・違反		行動 要因
手ぬき うっかり(意識の中 断・低下) 錯覚 忘却 性格 情緒不安定 自意識過剰 早合点、早のみこみ 劣等感		場面行動 手ぬき うっかり(意識の中 断・低下) 錯覚 忘却 性格 情緒不安定 自意識過剰 英雄気どり 自己顕示欲 競争意欲		心理 評価
疲労 体調不良 体格・体力 視力・聴力等の欠陥 身体・機能上の欠陥 高齢者問題 若年・女性問題 反射動作の誤り		疲労 体調不良 体格・体力 視力・聴力等の欠陥 身体・機能上の欠陥 高齢者問題 若年・女性問題 反射動作の誤り		生理 評価
作業標準が不明確 チームワークが悪い 管理・監督能力の不 足 作業統制の混乱 不適正器材の選定 情報伝達方法の不備 段取り・準備の欠陥 接点作業の管理不備		作業標準が不明確 作業上の悪習慣 規則・規律の悪習慣 チームワークが悪い 管理・監督能力の不 足 不適正配置 作業計画の不備 作業統制の混乱 情報伝達方法の不備 短期労働者の管理不 足 上下左右混在作業の 管理 段取り・準備の欠陥 不適正器材の選定 接点作業の管理不備		管理 評価
教育・訓練をしてい ない 内容の不備 方法の不備 フォローの不備 頻度の不備		教育・訓練をしてい ない 内容の不備 方法の不備 フォローの不備 頻度の不備		教育・訓練 評価
悪天候 不安全な作業姿勢を とらせる場 夜動 著しい騒音 照明が不十分 不適正器材等の使用 異常時 のどの渴き、動悸、 息切れ、空腹		悪天候 不安全な作業姿勢を とらせる場 夜動 著しい騒音 照明が不十分 不適正器材等の使用 異常時 のどの渴き、動悸、 息切れ、空腹		設備・環境 評価
社会的背景	技 能	社会的背景	技 能	技能・社会的背景 評価
生活条件(通勤等) 家庭の不安・心配 過度の流行		生活条件(通勤等) 家庭の不安・心配 過度の流行	作業手順の遂行が 困難 技能の未熟	

身体的欠陥による行為	常識に反する行動	安全装置等を無効にする
うっかり(意識の中 断・低下) 錯覚 自意識過剰	場面行動 うっかり(意識の中 断・低下) 錯覚 性格 忘却 情報不安定 鈍重、せっかち	場面行動 うっかり(意識の中 断・低下) 錯覚 自意識過剰 経験上のうぬぼれ
体格・体力 視力・聴力等の欠陥 身体・機能上の欠陥 高齢者問題 若年・女性問題 反射動作の誤り	疲労 体調不良 体格・体力 視力・聴力等の欠陥 身体・機能上の欠陥 高齢者問題 若年・女性問題 反射動作の誤り	疲労 体調不良 体格・体力 視力・聴力等の欠陥 身体・機能上の欠陥 高齢者問題 若年・女性問題
管理・監督能力の不 足 不適正配置 段取り・準備の欠陥 接点作業の管理不備	職場のしつけ	作業上の悪習慣 規則・規律の悪習慣 管理・監督能力の不 足 不正配置 短期労働者の管理不 足 上下左右混在作業の 管理 段取り・準備の欠陥 接点作業の管理不備
教育・訓練をしてい ない 内容の不備 方法の不備 フォローの不備 頻度の不備	教育・訓練をしてい ない 内容の不備 方法の不備 フォローの不備 頻度の不備	教育・訓練をしてい ない 内容の不備 方法の不備 フォローの不備 頻度の不備
悪天候 不安定な作業姿勢を とらせる場 著しい騒音 照明が不十分 不適正器材等の使用 異常時 のどの渴き、動悸、 息切れ、空腹	悪天候 不安定な作業姿勢を とらせる場 著しい騒音 照明が不十分 不適正器材等の使用 異常時 のどの渴き、動悸、 息切れ、空腹	悪天候 不安定な作業姿勢を とらせる場 著しい騒音 照明が不十分 不適正器材等の使用 異常時 のどの渴き、動悸、 息切れ、空腹
社会的背景	社会的背景	社会的背景
技能	技能	技能
作業手順の遂行が 困難 技能の未熟	作業手順の遂行が 困難 技能の未熟	作業手順の遂行が 困難 技能の未熟
	生活条件(通勤等) 家庭の不安・心配 過度の流行	生活条件(通勤等) 家庭の不安・心配 過度の流行

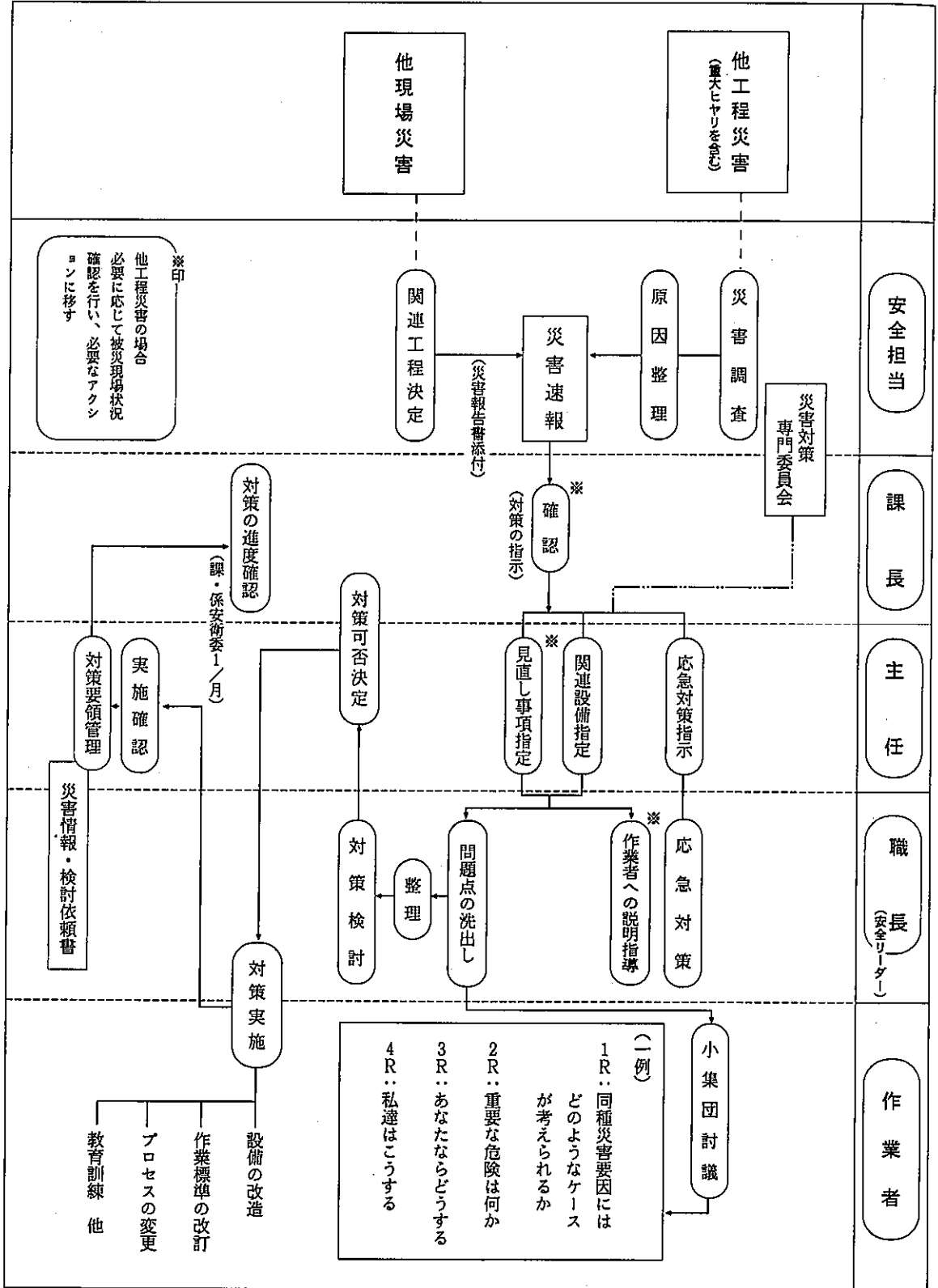
不安全な姿勢・行動	作業員の誤操作・誤判断・錯覚
場面行動 手ぬき うっかり(意識の中 断・低下) 錯覚 性格 情報不安定 英雄気どり 競争意欲 自意識過剰	場面行動 手ぬき うっかり(意識の中 断・低下) 錯覚 忘却 性格 情緒不安定 自意識過剰 過剰に人を信頼して いる
疲労 体調不良 体格・体力 視力・聴力等の欠陥 身体・機能上の欠陥 高齢者問題 若年・女性問題 反射動作の誤り	疲労 体調不良 視力・聴力等の欠陥 身体・機能上の欠陥 高齢者問題 若年・女性問題 反射動作の誤り
作業標準が不明確 作業上の悪習慣 規則・規律の悪習慣 チームワークが悪い 管理・監督能力の不 足 不適正配置 作業計画の不備 作業統制の混乱 不適正器材の選定 情報伝達方法の不備 短期労働者の管理不 足 上下左右混在作業の 管理 段取り・準備の欠陥 接点作業の管理不備	作業標準が不明確 作業上の悪習慣 規則・規律の悪習慣 チームワークが悪い 管理・監督能力の不 足 不適正配置 作業計画の不備 作業統制の混乱 情報伝達方法の不備 短期労働者の管理不 足 上下左右混在作業の 管理 段取り・準備の欠陥 接点作業の管理不備
教育・訓練をしてい ない 内容の不備 方法の不備 フォローの不備 頻度の不備	教育・訓練をしてい ない 内容の不備 方法の不備 フォローの不備 頻度の不備
悪天候 不安定な作業姿勢を とらせる場 夜勤 著しい騒音 照明が不十分 不適正器材等の使用 異常時 のどの渴き、動悸、 息切れ、空腹	悪天候 不安定な作業姿勢を とらせる場 夜勤 著しい騒音 照明が不十分 不適正器材等の使用 異常時 のどの渴き、動悸、 息切れ、空腹
社会的背景	社会的背景
技能	技能
作業手順の遂行が 困難 技能の未熟	作業手順の遂行が 困難 技能の未熟
	生活条件(通勤等) 家庭の不安・心配 過度の流行

資料作成：中央労働災害防止協会・安全評価研究会

災害コスト調査表 ※それぞれの項目についての費用を記入し、合計して災害コストを算出する

負傷 日時	月 時	日 分	曜日 天候	所属 別	職名 番号	氏 名	大正 昭和 平成	年 月 日	生 入 社	年齢 勤続	歳 年 月
傷害の 種類	負傷の 部位	傷害の程度			負傷の結果 及び傷害等級	休業見込み	本 平 均 賃 金	人 平 均 賃 金	(工場) 平均賃金	家 族 関 係	
		死 亡	働 永 久 不 能 全 労	働 永 久 一 部 不 能 全 労	働 一 時 不 能 全 労	(級)	日	円	円		
災害発生の 現況と原因										原因分類	
直 接 費					間 接 費						
法 定 補 償	療 養 補 償 費	項 目	内 訳	金 額	人 的 損 害 費	本 人	当日の時間損失	1			
			薬剤、治療材料			休業中の "					
			処置、手術等			その他の "					
			入院料			救助、連絡、介添					
			看護料			調査、対策、記録					
			移送料			整理、復旧					
			小 計			作業手当					
	休 業 補 償 費	(保 険 給 付)		見舞、付添							
	障 害 補 償 費	"		葬儀、会葬							
	遺 族 補 償 費	"		そ の 他							
葬 祭 料	"		計								
計			項 目	内 訳	金 額						
会 社 補 償	項 目	金 額	物 的 損 害 費	建 物 、 設 備							
	休 業 手 当 (保 険 給 付 外)			機 械 、 器 具 、 付 属 品							
	療 養 費 、 見 舞 金 (")			材 料 、 加 工 品 、 製 品							
	障 害 手 当 、 退 職 金 加 算 額			保 護 具 類							
	そ の 他			動 力 、 燃 料							
計			消 耗 品								
生 産 損 失	項 目	内 訳	金 額	そ の 他							
	生 産 減 少 に よ る 損 失	(他 項 の 損 費) を 除 く		計							
	生 産 回 復 の た め の 経 費	(他 項 の 損 費) を 除 く		項 目	内 訳						
	計			賠 償 費							
	そ の 他 の 損 失	項 目	内 訳	金 額	旅 費 、 通 信 費						
賠 償 費				社 葬 費							
旅 費 、 通 信 費				そ の 他							
社 葬 費				計							
計											
直接費合計				円	間接費合計				円		
直接費 + 間接費 =				円	直接費 : 間接費 =				:		

類似災害再発防止体制 (例)



設備導入時の事前評価基準（チェックリスト）②

分類	チェック項目	判断基準	メーカー	立会時	最終確認		改善内容
					月/日	確認	
2 回 転 部	(1)ベルト、プーリー、ギヤー、フライホイール、その他の部材が露出していないか	・防護カバーがあること					
	(2)露出回転部の上部を横切って操作しなければならない箇所はないか	・特に床面から1.8m以内は接触防止柵があること					
	(3)油圧ポンプカップリングにカバーはあるか	・厚さ1.6mm以上、隙間10mm以下であること					
	(4)回転部の止め金具類（キー、セットピンなど）は突出していないか	・埋頭型もしくはカバーが取りつけられていること					
	(5)頭上のベルトに覆いはあるか	・防護カバーがあること					
3 ス ラ イ ド 部	(1)ユニットその他で手が挟まれるようなことはないか	・手足などが入らない構造であること					
	(2)テーブル、ラムなどのストローク端は危なくないか	・防護カバーがあること					
4 ワ ー ク の 脱 着	(1)脱着時にワークを持つ手と刃具との間隔は少ないか（手指の切創などの危険）	・ワークと刃具との間隔は15cm以上であること					
	(2)脱着・不意の動作時にクランプまたは治具などに手指を挟まれるおそれのないよう扉起動になっているか ※作業者の操作ミスなどによる危険性の排除	・扉が閉じて起動すること ・扉が開いて停止すること					
	(3)バリその他で手を切るようなことはないか	・ワークはバリがないこと ・機器の縁、端などにRがあること					
5 セ ン タ ー 作 業	(1)仮受け台の位置はよいか	・センターワークと受け台の芯が同一であること					
	(2)操作関係（レバー、ボタン、扉など）は、安全が確保されているか ※安全確保とは作業者の操作ミスによる危険性の防止	・ワークより両手を離さなければ操作できない構造であること					
	(3)センターのインターロックは完全か	・非常の場合、電源は切れても、センターが保持されていること					
6 刃 具 の 取 り つ け ・ 取 り 外 し	(1)刃具の交換、修理、調整などは容易にできるようになっているか	・容易にできない場合、足場があること					
	(2)重い刃具の取扱いが考慮されているか	・20kg以上は取りつけ具または取り具装置があること					
	(3)運転中に操作するレバーまたはハンドルの先端から刃具や回転またはスライド部までの間隔は少なくはないか	・間隔は20cm以上あること					

設備導入時の事前評価基準（チェックリスト）①

分類	チェック項目	判断基準	メーカー	立会時	最終確認		改善内容
					月/日	確認	
1 保 安 保 全	(1)高さ2m以上の箇所（機械上）で日常点検調整の作業を行う足場には、転落などの防止の手すりを設け、かつ安全が確保されているか	・高さ110cm以上の丈夫な構造の手すりが設けられていること					
	(2)手すり、柵の棧の間隔は安全が確保された構造（間隔が広いために転落などを防止する）であるか	・棧の間隔は25cm以下の丈夫な構造であること					
	(3)高さ160cm以上の箇所です日常注油点検作業を行う場合、足場の安全は確保されているか	・下方で注油できること ・160cm以上の場合は点検台を設けること					
	(4)オイルレベルゲージは見やすい位置にあるか	・給油側より容易に見えること					
	(5)圧力計はチャック関係を除き、調整側から見やすい位置にあり、使用範囲が明示されているか	・調整側より容易に見えること ・使用範囲がグリーン色で塗布されていること					
	(6)危険部分（ユニット、スライド端、クランプなど）に安全色が塗装されているか	・原則としてトラマークが塗装されていること （著しく困難な箇所は黄ペンキで）					
	(7)重量表示が見やすいところにしてあるか（付属品も含む）	・表示の単位は、t小数1桁、文字5～10cm以内黄色ペンキ					
	(8)移動の場合、安全にかつ容易に運搬できる構造になっているか	・つり上げ部はフック穴などがあり、強度、バランスが配慮されていること					
	(9)火傷対策はしてあるか、ガード・柵などがあるか、炎が顔などに当たらない構造か	・70℃以上は接触による火傷防止がなされていること					
	(10)頭が当たることはないか	・通常作業域（床上2m以内）に障害物がないこと					
	(11)回転方向及びベルトサイズの表示はしてあるか	・白地に黒色で表示のあること（回転方向矢印と本数、サイズ）					
	(12)はしごの突出しは十分か	・90cm以上のこと					
	(13)玉握りの色は黒であるか	・黒色であること					
	(14)ユニット、治具などにつりボルト、フックはあるか 安全色は塗られているか	・つり具が適切であること ・黄色であること					
	(15)足場は滑らない構造であるか	・パンチングメタル、エキスパンドなどであること					
	(16)手すり、柵などの足場から物が落ちないか	・足場上2～5cmの落下防止棧または縁があること					

設備導入時の事前評価基準（チェックリスト）④

分類	チェック項目	判断基準	メーカー	立会時	最終確認		改善内容
					月/日	確認	
10 トランスフォーマーマシン	(1)各機械ごとに動力遮断器があるか (2)トラップがあるか、適正な高さにあるか (3)容易に操作できる非常停止装置があるか	・動力遮断器があること ・高さ110cm以上のトラップであること ・各ユニットまたはステーションごとに設けてあること ・延長機では3mごとに設けてあること					
11 その他（環境を含む）	(1)カバーの端、角は面取りが行われているか (2)主電源には自動遮断器があるか (3)漏電、感電のおそれがないか (4)騒音が高くないか (5)粉じんの飛散がないか （※右記物質以外のものは所定の職場環境基準に準ずる） (6)ガスの飛散がないか （※右記物質以外のものは所定の職場環境基準に準ずる） (7)騒音、粉じん、ガス、蒸気などの発散の抑制はされているか	・端、角は10R以上の面取りがあること ・自動遮断器があること ・充電部の露出がないこと ・移動、可搬型は漏電遮断器があること ・等価騒音レベル85dB未満であること ・第1種粉じん 0.4 ・第2種粉じん 1.0 ・第3種粉じん 2.0 ・綿粉じん 0.04 ・オイルミスト 1.0 ※それぞれmg/m ³ 以下であること ・トリクレン 25 ・トルエン 50 ・キシレン 75 ※おのおのppm以下であること ・作業者が有害にならないため発散源を密閉するか、局排、全体換気装置などが設けてあること					
点検結果記入（判定）							
					年	月	日
					課長	工長	組長

設備導入時の事前評価基準（チェックリスト）③

分類	チェック項目	判断基準	メーカー	立会時	最終確認		改善内容
					月/日	確認	
7 操作関係	(1)扉起動の場合、前面の位置に扉起動の表示及び表示灯か取りつけてあるか (2)非常停止ボタンを押したときは直ちにその位置で停止するか (3)非常停止ボタンは赤色のキノコ型になっているか (4)戻しボタンは黄色のキノコ型になっているか (5)非常停止ボタンは押しやすい位置にあるか (6)両手押しボタンまたは操作レバーの間隔は狭くないか（いずれも片手で操作できるようなことはないか） (7)各リミットスイッチ及び押しボタンなどが誤作動することはないか (8)スイッチ操作に不便な点はないか (9)非常停止操作で治具またはワークが直ちに緩むことはないか (10)レバーが身体の接触しやすいところはないか (11)赤色キノコ型ボタンを非常停止以外に使用していないか (12)スイッチ操作盤は固定されているか（専用機） (13)各個スイッチに誤操作防止カバーがあるか（専用機）	・扉起動表示は赤文字 ・表示灯は橙であること ・直ちに停止すること（原則） ※状況判断する ・赤色キノコ型であること ・32φ～50φであること ・黄色キノコ型であること ・床面より1.5m以内に設けられていること（容易に押すことのできる位置） ・ボタンまたはレバーの間隔は30cm以上であること ・液体、粉じん、熱振動などから防護されていること ・作業者位置から両手を水平に伸ばした状態でそれぞれ60cm以下にスイッチが設けられていること ・非常停止時、直ちにアークランプを行わない回路が設けられていること ・人間工学（作業行動など）の配慮をすること ・赤色キノコ型は非常停止ボタンであること ・ぶらつきがないこと ・カバーを設け、表面にそれぞれスイッチと黄ペンキで明示されていること					
8 スプ	(1)アース線は緑色になっているか	・緑色であること					
9 切り粉関係	(1)切り粉、切削油などの飛散防止の扉、カバーなどが設けてあるか (2)切り粉の除去作業に配線を傷つけるような箇所はないか (3)電気機器（リミットスイッチ）などの配線などが切り粉に埋まって動作不良または破損するおそれのあるものはないか	・切削屑、ワーク飛散などの扉、カバーがあること ・切り粉処理装置などがあること ・配線防護があること ・切り粉の埋まる場所のL/S、配線にはカバーが設けられていること					

建設工事計画審査書

建設工事計画審査書 —— 審査項目及びその記録 ——		年	月	日
工事名称	委員長氏名			㊦
1. 工事概要について	10. 鉄骨組立て計画について			
2. 現場人員配置計画について	11. 足場、ステージ等の計画について			
3. 協力会社使用計画について	12. 型枠支保工の計画について			
4. 工程計画及び工期について	13. 安全管理計画について（工程別災害防止計画等）			
5. 地質、地形、埋設物等の調査計画について	14. 衛生管理について			
6. 掘削計画について	15. 就業制限業務の有資格者のチェックについて			
7. 土止め支保工の組立て計画について	16. 危険有害物の保管及び消防設備について			
8. クレーン等の機械配置計画について	17. 公害防止について			
9. 運搬、掘削機械運行計画について	18. その他の事項について			

高齢者災害要因分析表

原		因			
第 I の 柱		第 II の 柱			
一、心理的要因	1	そのとき必要な対象へ注意を向けていなかった	一、いつ起ったか？	1	急がされていたとき
	2	そのとき必要な対象へ注意を向けていたが、それに対する集中力が足りなかった		2	急いでいたとき
	3	錯覚を生じ判断を誤ってしまった		3	急激に操作したとき
	4	単調感あるいは疲労のためボンヤリしていた		4	力を込めたとき
	5	緊張のため、かたくなってしまった		5	体の重心を移動したとき
	6	その瞬間どうしようかと一瞬判断を迷った		6	姿勢を変化（ヒネリなど）したとき
	7	いつもの習慣にひっぱられてしまった	二、どんな状況で起ったか？	1	床面（凹凸、段差、滑りやすさ）があった
	8	かなり感情的、衝動的であった		2	作業域がちらかっていた
	9	心配ごと（家庭などにおける）を気にかけながら作業していた		3	〈階段、はしご、脚立〉などでの作業であった
	10	かたくなな気持（がんこさ等）が災いしてしまった		4	感覚器あるいは、情報提示盤が遮蔽されていた
	11	作業に対する意欲が低下していた		5	作業域が〈暗すぎた、明るすぎた〉
	12	作業そのものに熱中しすぎている		6	まぶしすぎた
	13	もう少しで休憩、終業になるという気分で作業をしていた		7	騒音内での作業であった
	14	作業にとりかかったばかりなので、心理的にペースが安定していなかった	三、どのような作業で起ったか？	8	振動下での作業であった
	15	かなりあわてて作業していた		9	〈高温、高湿、低温〉下での作業であった
二、生理的要因	1	遠いところから近いところ（逆の場合）を見ると見え誤った		10	汚染された空気（例えば粉じんなどにより）内での作業であった
	2	色の識別を見誤った	四、作業の管理はどうだったか？	1	長時間にわたる連続作業であった
	3	近いところがよく見えなかった		2	夜間作業であった
	4	情報が聞えなかった		3	たまに（保全時など）しか操作しない作業であった
	5	聴力が低下しており情報を聞き進えてしまった		4	複雑な操作であった
	6	四肢（足腰など）が弱っていた		5	精細な見極めを必要とする作業であった
	7	体のバランスを思うように維持しえなかった		6	作業に関する情報（表示・警報）が複雑であった
	8	気持ちがか走り体がついていかなかった		7	指先の細かい作業であった
	9	動作が緩慢であった		8	不安定な場所での作業（高所作業も含む）であった
	10	目まいなどにより一瞬フラットした		1	作業手順、方法が明確化されていなかった
	11	病気（高血圧・糖尿など）がちであるのに無理して作業していた		2	作業手順に不備があった
三、作業要知識	1	作業手順、方法を間違えて覚えていた		3	監督者の指示、あるいは注意事項が明確に伝達されていなかった
	2	作業手順、方法を省略しても大丈夫であると思っていた		4	監督者の指示あるいは注意事項が、明確に伝達されていたが無視してしまった
	3	正確な作業方法を忘れて我流で行っていた		5	安全装置等を取り付けるように指示していなかった
	4	経験・知識が不足していた		6	安全装置等を取り付けるように指示していたが、取りはずしていた
四、共同作業に関して	1	他人との呼吸が合っていないかった		7	安全靴、安全帽、安全服等を着用するように指示していなかった
	2	他人がやってくれるものと信じ込んでいた		8	安全靴、安全帽、安全服等を着用するよう指示していたが、着用しなかった
	3	作業に必要な人数が不足していたが、無理してその作業にとりかかってしまった		9	現場における日頃の指導、教育が徹底されていなかった
	4	共同作業をしている仲間との間に孤立感をいだいていた		10	チーム内の意思疎通がうまくいかなかった
	5	共同作業をしている仲間としくりいっていないかった	五、作業の負荷はどうだったか？	1	人力運搬（手押車などによる）で体力以上の力を使う作業であった

事故の型の内訳	
第 III の 柱	
墜落、転落	滑って つまづいて 踏みはずして 踏んでいた場所が破れて 乗っていた場所が崩れて 乗っていた場所が動揺して 接触して 自分の動作の反動で その他
転倒	滑って つまづいて 踏みはずして 踏んでいた場所が崩れて 乗っていた場所が動揺して 接触して 自分の動作の反動で その他
飛来、落下物にあたる （崩壊、倒壊物を含む） 加工または処理中の物体片が飛来して 加工または処理中の物が飛来して 破損により物が飛来して その他の物が飛来して 取扱中の物体が落下して 物体が崩れ落ちて 倒れてきて その他の物が落下して	
踏抜き	
激突・当てられ 静止しているものに激突 動いているものに激突 当てられ、打たれ	
はさまれ 作動中（かみ合い中を含む）のもの に 取扱中の物体に 誘導のものに その他	
切れ、こすれ、すりむき 取扱中の物体で 圧迫の繰返して 作動中の刃物にふれて その他	
激しい動作 （不自然な動作によるものを含む） 物を引きまたは押すとき 無理な姿勢をしたことによる その他	
感電	
爆発・破裂 爆発 破裂	
有害物との接触 ガスによる中毒または窒息 毒劇物のえん下、接触 その他	
異常温度との接触等 高温のもの 高温の環境 低温のもの 低温の環境	
道路交通事故 運転中 運転していないが乗っていて その他	
その他の交通事故 （自動車以外の場合） 乗務中 乗客として その他	
その他及び分類不能 その他 分類不能	

（資料：中央労働災害防止協会作成）

災害の型別の高齢者の安全対策

<p>基本的対策</p>	<p>(1) 墜落・転落防止対策 イ 高所作業をできるだけ地上作業に置き換える</p> <p>ロ 垂直はしごを階段に改善</p> <p>ハ 階段の改善</p> <p>ニ 高所作業台(車)の活用</p> <p>ホ 作業床の設置など</p>	<p>類似の安全対策または具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブ組立てを地上でも可能なように範囲を拡大し、高所作業を少なくする ・製品の手すり、階段、はしごを地上で取りつける ・高所での測定、あるいは点検を行う。作業を地上作業でできるように改善する ・ゲージ類は地上に設ける ・モニターテレビを活用する ・はしごによる昇降はできるだけ避け、階段またはスロープに改善する ・垂直はしごはらせん階段に変更する ・階段の傾斜をゆるやかにする ・階段の蹴上げを小さくとり、踏面を広くとる ・階段の踏面に滑止めを取りつける ・階段(踏面)に色彩表示する ・階段に手すりを取りつける。また、手すりに中杖を設ける ・エレベーターを利用する ・移動用はしごを高所作業台(車)の活用に変える ・高所における作業に手すりのついたテールリフターや油圧作業台を使用する ・脚立の使用を極力避ける ・大型の装置、塔槽などの高所作業場所には丈夫な作業床や足場を設け、また安全帯の固定つりを設ける ・開口部まわりの作業では丈夫な柵を設け、転落することがないようにする
<p>基本的対策</p>	<p>(2) 転倒防止対策 イ つまずきの原因となる段差などの除去</p> <p>ロ 作業床の滑り防止対策の徹底</p> <p>ハ ノンスリップ靴の着用など</p> <p>ニ その他</p> <p>(3) 重量物など取扱い方法の改善 イ 手押し車などの活用</p> <p>ロ 運搬用ロットを大きさ及び重量の面から適正な大きさに改善する</p> <p>ハ 揚重・運搬にチェーンブロックなどの活用</p> <p>ニ 動力運搬機の活用</p> <p>ホ バランサーなどの活用</p> <p>ヘ その他</p>	<p>類似の安全対策または具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床面の段差はできるだけ除去する ・金属片、屑などは作業床からできるだけ早期に除去する ・作業床の必要な部分には「滑止め」を設けたり、アンチスリップ網板、カーペットなどを利用する ・作業床、通路を清掃する ・水、油類の飛散を防止する(飛散物は直ちに除去する) ・作業用はきものは安全靴など、着地面が滑らないようになっているものを着用する ・作業床が氷結したり、積雪のために滑りやすいときは、これらをできるだけ除去すること。また、除去不可能な場合には専用のはきものを使用したり、手すりを設ける ・作業行動中に滑りやすい姿勢をとらないように、作業方法を改善する ・歩行に際しては両手による運搬を避ける ・専用の運搬車を活用して、手持ちなどの人力運搬を減少させる ・人力運搬に適した大きさや重量になるロットを定める ・揚重・運搬にチェーンブロックなどを利用する ・フォークリフト、モーターラック、クレーンを活用する ・手持ち動力工具の使用にバランサーを利用して、実重量を軽減する ・ローラーコンベヤ、ホイールコンベヤなどを重量物運搬に活用する
<p>31</p>	<p>(資料：中央労働災害防止協会作成)</p>	<p>30</p>

災害の型別の高齢者の安全対策

<p>基本的対策</p>	<p>(5) 視聴覚機能の補助など イ 全体照明・局所照明を改善する</p> <p>ロ 作業指示票、図面などの表示を拡大し、また簡潔化、明瞭化を図る</p> <p>ハ 拡大鏡などの取りつけによる表示の容易な読取りを図る</p>	<p>類似の安全対策または具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・極軟索(台つけ用ワイヤロープ)を活用する ・運搬距離を短くするよう、レイアウトを改善する ・機械、工具類の軽量化を図る ・屈位を立位に変更するよう、作業方法を改善する ・高さを調節できる作業台、椅子を使用する ・品物を傾斜させて加工できる装置、加工台を考案する ・リフティングマグネットの使用により、加工物の位置を調節する ・加工物をターニングテーブルに固定して作業する ・ガス切断、溶接作業を椅子作業とする ・全体照明に局所照明を併用して作業に必要な照度を保つようにする ・色彩を十分に活用して見やすい表示にする ・注意表示にはイラストを大幅に採用する ・黒板を設置して表示を明確にする ・図面などに記入する文字を大きくする ・老眼鏡レンズを保護メガネに取り入れる ・図面読取りに拡大鏡を備えつける ・半導体製品の表面検査において、拡大鏡
<p>基本的対策</p>	<p>(6) 記憶機能の補助 イ 目で見る管理に改善する</p> <p>ロ その他</p> <p>(7) その他の改善 イ 組立て・加工・機械などに材料を容易にセットするための装置・器具を開発する</p> <p>ロ 挟まれ・巻き込まれ防止のための防護柵を設置する</p>	<p>類似の安全対策または具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大投影機を設置し、検査業務の精度を上げる ・デジタル表示の測定器を用いる ・マイク、スピーカーなどの活用を図る ・必要により補聴器を使用する ・ハンマーを金属製から強化プラスチック製に変更する ・騒音源を隔離する ・耳栓を活用する ・メモ連絡とする ・ビデオなどの活用を図る ・連絡板の設置と作業内容ごとに掲示板を活用する ・指差呼称確認を励行する ・ツールボックス・スミリーティング(職場安全会議)の励行 ・朝礼時に、全員で安全ポイントを唱和する ・位置決め装置を開発する ・指先を使う細かい作業を軽減する治具を開発する ・立合者や見張員をつけ、合図を送る態勢をとる
<p>31</p>	<p>(資料：中央労働災害防止協会作成)</p>	<p>30</p>

安全衛生監査チェックリスト 評価記入例 5点:非常に優れている 4点:優れている 3点:普通 2点:劣る 1点:非常に劣る

チェック項目		評価	是正を要する事項
6 自主検査	検査を必要とする設備機器などの台帳はあるか		
	検査の実施状況はどうか		
	検査の記録はどうか		
7 安全パトロール	制度を設けているか		
	チェックリストはあるか		
	実施記録はあるか		
	改善などの措置ルートが確立されているか		
8	安全作業標準類は整備されているか		
9	接点作業協定書は整備されているか		
10	ミーティングの実施と従業員の周知状況はどうか		
11	終礼の実施状況はどうか		
12	グループによる安全衛生活動状況はどうか		
13 保護具	安全保護具の管理状況はどうか		
	衛生保護具の管理状況はどうか		
14	救急機材の整備と管理状況はどうか		
15 環境整備	環境測定体制と測定状況はどうか		
	測定記録はどうか		
	作業環境実施把握一覧表はあるか		
16	ヒヤリ・ハット運動の推進状況はどうか		
17	交通安全指導状況はどうか		
要望事項			

監査結果

チェック項目		評価	是正を要する事項
1 安全衛生管理規程はよく整備されているか			
2 会議	安全衛生委員会	設けているが構成はどうか	
		開催状況はどうか	
		議事録はあるか	
		その他	
	職場安全衛生会議の開催状況はどうか		
		課安全衛生協議会の開催状況はどうか	
3 教育	新入社員 配転者 職長 特別教育	実施要領(計画)と実施記録はあるか	
		〃	
		〃	
		〃	
		非定常作業に対する教育訓練状況はどうか	
4 就業制限	作業主任者選任状況はどうか		
	各種免許資格者は充足されているか		
	各種免許資格者台帳はあるか		
	指名就業台帳はあるか		
5 危険予知活動	KYTは全員に行ったか その記録はあるか		
	職場KYシートは作成しているか		
	KYTの推進状況はどうか		
	KYT発表会の開催頻度はどうか		

監査評価基準例

モデル職場：総合点180点以上、全項目4点以上
 優良職場：総合点170点以上、全項目3点以上
 努力職場：総合点160点以上、全項目3点以上
 要改善職場：総合点150点未満、2点以下の項目が1個以上
 要特別指導職場：総合点140点未満または1点の項目が1項目が1個以上

(注)
 それぞれの職場に該当しないものは、最も近い上位職場の1ランク下位の職場とする。

作業標準チェックリスト (安全作業指導チェックポイント)

区 分	チ ェ ッ ク ポ イ ン ト		
1 職場に作業標準の備えつけはあるか	1 ある	1 見やすい場所か () 2 有効期限は適正か () 3 全員が知っているか () 4 守っているか () 5 読める状態か () 6 見る頻度は適正か () 7 理解しているか () 8 内容にまちがいはないか ()	
	2 ない	1 必要ないか () 2 非定常作業かどうか ()	
2 作業標準の内容は十分か	1 十分		
	2 不十分	1 安全基準・安全心得はどうか ①資格がなくてやっていないか ②許可されないことをやっていないか ③警報・標識を無視していないか ④指示・命令を守っているか ⑤安全装置を無効にしていないか	2 危険な行為はないか ①手抜きをしていないか ②点検・確認はしているか ③不安全に蓄積していないか ④準備・段取りは十分か ⑤危険な場所へ立ち入っていないか
		3 動作の失敗はなかったか ①誤操作をしていないか ②作業順序は誤っていないか ③危険有害物の取扱いは正しいか ④運転中の機械に関与していないか ⑤危険な部分に関与していないか	4 機器使用に誤りはないか ①安全装置の調整は正しいか ②使用方法は正しいか ③不適当な機器を使用していないか ④手で機器の代用をしていないか ⑤点検を省略していないか
		5 共同作業の欠陥はどうか ①合図・連絡を行っているか ②あいまいな合図をしていないか ③まちがった合図をしていないか ④合図・連絡を誤認していないか ⑤動作・呼吸は合っているか	6 不安全な位置・姿勢かどうか ①不安全なものの上に乗っていないか ②無理な姿勢でやっていないか ③不必要に走っていないか ④つり荷の下に入っていないか ⑤無理な飛降りをしていないか
		7 服装・保護具はどうか ①保護具は使用しているか ②保護具の使用は正しいか ③不良の保護具を使っていないか ④保護具の保管は正しいか ⑤作業服装は乱れていないか	8 類似災害防止対策はどうか ①最近の災害発生について知っているか ②類似の危険箇所を知っているか ③新しい対策・改善策を持っているか ④基準書の改正・変更を知っているか ⑤職場安全衛生会議に出席しているか
		9 心身状態はどうか (動作の緩慢、表情、顔色、言動、考えごと) ①身体に疲労がないか ②心配ごとはないか ③二日酔いはしていないか ④職場の人と調和しているか ⑤不平・不満がないか	10 技能に欠陥はみられないか ①体力的に技能の低下はないか ②技能向上に努力しているか ③作業方法の改善に意欲的か ④作業に不慣れではないか ⑤技能の不足はないか
	11 知識に欠陥はないか ①設備に対して熟知しているか ②作業方法に熟知しているか ③異常時の措置を知っているか ④災害発生時の措置を知っているか ⑤申送り連絡等を理解しているか	12 その他	
3 作業者の健康状態や技能、知識は十分か			

異常処置点検チェックリスト (例)

異常処置時のルール点検シート (監督者用)						
区分	点検項目	評価	改善案	指名者	指名者の行動規制	非指名者の行動規制
全般	<ul style="list-style-type: none"> ○ 異常処置指名者の選び方は適切か ○ 異常処置 (止めること) のルールは決められているか ○ 「止めたらできない仕事」についても、安全に行える方法が決められているか ○ 指名者の作業範囲は明確か ○ 共同作業時の規則は明確か 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全の確保されているか ○ 保護具・標識・作業用具は整備されているか 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指名者の不在 (欠勤) 時の対応ルールは決められているか 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 設備ごとに異常とは「どのような状態か」が分かるように決められているか

異常処置教育点検シート (一般作業者用)						
区分	点検項目	評価	改善案	異常発生時の処置	教育について	ルールについて
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 誰が処置するか知っているか ○ 誰が処置するかわかっているか ○ 誰が指名者か見れば分かるか ○ 指名者の不在時はどうするか分かるか 			<ul style="list-style-type: none"> ○ どうするか教えられているか ○ 基本手順は明確になっているか 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 計画的に実施されているか ○ 全員の意見が取り入れられているか 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ルールの教育は全員が受けたか